

あおり教育フェスタの
発表内容の一部につい
て、紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2018

研究員研究発表のご案内 日時：11月16日（金）

※詳細につきましては、フェスタ二次案内または当セン
ターホームページをご覧ください。

義務教育課 研究員 久保 真一郎

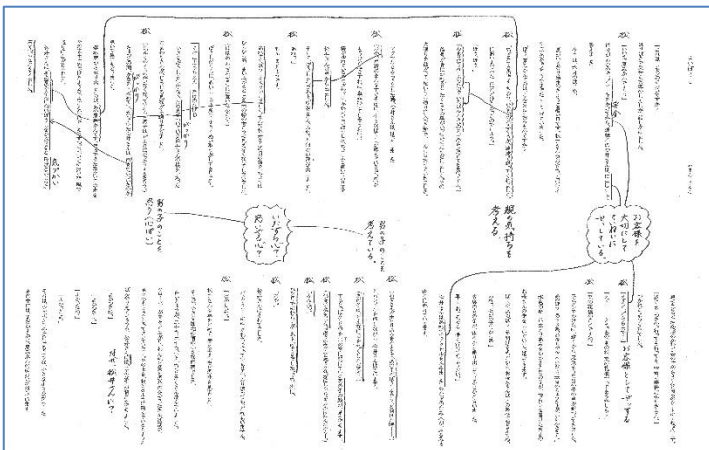


小学校国語科の文学的な文章において、 登場人物の人物像を捉える指導法の研究 —文章全体を俯瞰し、根拠と理由を基に考えを形成する活動を通して—



新学習指導要領解説国語編では、「読むこと」の指導において、「物語全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちなどを捉える」こと、「考えたり理解したりしたことを基にする」こと、「自分の体験や既習の内容と結び付けて自分の考えを形成する」ことが重要であると示されています。しかし、青森県学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果から、「複数の叙述を基に登場人物の人物像を捉える力」、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」に課題があることが示されています。そこで、文章全体を一枚にまとめた全文シートを用いて複数の叙述を根拠にすること、理由を述べるための文型を用いて考えを明確にすることで登場人物の人物像を捉えやすくなるのではないかと考えました。

【全文シート（記入例）】



《児童の感想》

- ・ページをめくらなくてもいいからわかりやすい。
- ・ちがう場面の内容もいっしょに見られるからべんり。



【理由を述べるための文型】（授業で児童と作成したもの）



《児童の感想》

- ・どういう言葉をつかえばいいかわかりやすい。
- ・理由や考えを書く時に役立った。

小学校4・5・6年生の共感性を育むための指導の研究

- 共感性向上プログラムの実践を通して -

共感性とは、他者の経験する感情や心理状態を、理解したり、自分も同じように感じたりする力です。



小学生の発達段階を考慮した共感性を向上させるプログラムを作成しています

共感性を育むと...



たたく、仲間はずれにするなどの**攻撃行動**を抑制

親切行動や援助行動などの**向社会的行動**を促進

「**思いやり**」の気持ちを生むための基盤となる力がつく

いじめの未然防止

にもつながります

つまり...



プログラムの一部を紹介します (フェスタ2018の発表ではプログラムの一部を実際に体験できます!)

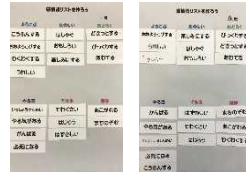
共感性を向上させるプログラムの内容

セッション1 ○ガイダンス ○上手な話の聞き方	認知的側面
セッション2 ○感情語リストを作ろう ○感情識別トレーニング ○どんな気持ち?	
セッション3 ○私の視点, あなたの視点 ○ロールレタリング	
セッション4 ○バーステアライン ○カムオン ○サイコロトーク	感情的側面
セッション5 ○一枚うわてのはげまし上手、声かけ上手	
セッション6 ○一枚うわてのほめ上手 ○ポジティブ場面のサイコロトーク ○ポジティブ日記	

感情語リストを作ろう



感情を表す言葉って、思ったよりたくさんあるよ。



グループによって仲間分けがちよとずつ違うね。

本当だ。人によって、感じ方って違うんだね。

感情識別トレーニング



同じ表情でも、まわりの様子が違うと、読み取ることができる感情も変わってくるんだね。

一枚うわてのほめ上手、ポジティブ場面のサイコロトーク



友達をほめたとき、自分も楽しい、幸せな感情になった。普段もほめ言葉をどんどん使っていきたい!

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2018でお伝えします!

あおもり教育フェスタ2018
平成30年11月16日(金)・17日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994